

★加治木高校図書委員ボランティア活動報告

第9回「マヤフェスタ」

＜椋鳩十文学記念館＞

日時：平成26年7月19日（土）

10:00～12:00

児童文学者・椋鳩十氏の代表作『マヤの一生』にちなんだ「お話と音楽のつどい」が、7月19日（土）始良市加治木町にある椋鳩十文学記念館で開催されました。

この催しの支援をボランティア活動の一環として、加治木高校図書委員の1, 2年生11名が行いました。

今年は、「受付」、「司会」、「会場撤去作業」などのお手伝いをしました。



第9回「マヤフェスタ」

平成26年7月19日（土）10:00～12:00

始良市加治木町 ＜椋鳩十文学記念館＞



「マヤフェスタ」会場入口で受け付けをしました。小学生や幼稚園の親子連れの皆さんが、164名参加しました。



司会は、図書委員と放送部員も協力しました。

★「マヤフェスタ」の内容を図書委員が一部紹介します。



椋先生を偲んで「在りし日の椋先生」

- ・ 椋嶋十先生の作品への思い入れの強さを理解することができた。(H)
- ・ 野生の生き物を見るには山に行かないといけないと聞いて確かにそうだった。椋先生は、生き物が好きなんだなあと思った。(Y)



人形劇「町のねずみと田舎のねずみ」

- ・ 人形が本当に自分で動いているように見えて面白かった。(Y)
- ・ 本当に生きているように感じられた。(H)



マジック「リトル・マジック」

- ・ マジックの種類が豊富で楽しめた。(H)
- ・ 出てくるはずのないところから花や球が出てきてすごかった。(Y)



ブラックシアター「ツルかえる」

- ・ 幻想的な感じでイラストが光っていてきれいだった。(H)
- ・ 絵が光っておもしろかった。(Y)



音楽のついで読み聞かせ「おおくすと大蛇」

- ・太鼓と横笛とピアノが物語の場面ごとに演奏されて、物語もとても面白かった。蒲生の大楠を見てみたいと思った。(Y)
- ・音楽があることで、その場の雰囲気がより一層わかり、絵本の世界に入り込んだような感じがした。(H)



朗読「お日さまのうた」

- ・建昌小学校の図書委員6人が朗読した。朗読を聞いて心が温かくなったような気がした。(Y)
- ・みんなハキハキと元気よく読んでいて、その場の情景が目に浮かぶようだった。(H)



弦楽四重奏「ガボット」他

- ・弦楽器で奏でる「故郷」は、とてもきれいだった。混声合唱もあった。ソプラノの人の声が通っていた。(Y)
- ・声楽とのコラボレーションがとてもきれいだった。(H)



★全員で撤去作業をしました。



★ボランティア活動無事終了。